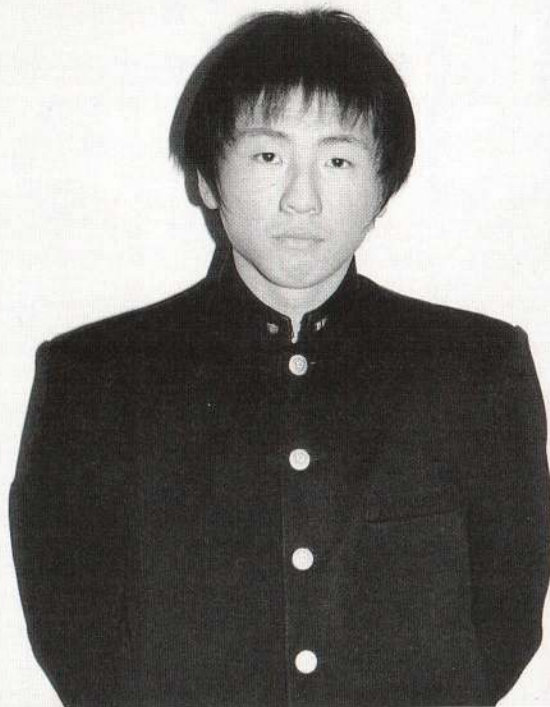


キラットさん



大館鳳鳴高校 2年

まさる
小林 将さん



今回は、サッカーがやりたくて、鳳鳴高校へ進学することを小学生のころから決めていたという小林さんの登場です。当然サッカー部ではキャプテンを務め、生徒会でも現在、副会長として頑張っているという、多方面にわたって活動的な高校生です。

小、中学校時代は、学校にサッカー部がなかったため、ミニバス部、バスケット部に所属しながら同時に、スポーツ少年団でサッカーをやっていたそうです。現在のクラブには、そのときの仲間が三人いるので、サッカー部に入らたのころから今にいたるまで、とても心強く感じているそうです。「相手から点を取り、その点を守る」これがチームが一つに

なつて目指す究極のところですが、でも、一人ひとり自分のプレイに對しては、それぞれの意見を持っています。十一人の意見をうまくまとめて、メンバー全員を納得させるのがキャプテンの役目として難しいところだと、キャプテンならではの悩みもあります。また、「チームカラーは泥くさくさがむしゃらで、技術もうまいわけではないけれど、十一人が一つになるとそれ以上の力が出る」とも話してくれました。一人がだめなだけでチーム全体がボロボロに乱れてしまい、機能しなくなることもあるとか。でも、それ以上にイレブンたちは強い信頼関係で結ばれているようです。

テレビでのプロサッカーの試合はほとんど見ているそうです。プロから学ぶことはたくさんあって、楽しくて強いチームを作ることが目標という小林さんにとっては大きな手本となっています。

昨年は全県でベストエイト入りという好成績を残しました。そして今年最初の試合は一月十六、十七日に樹海ドームで行われたフットサル全県大会でした。社会人も混じつての試合でしたが、準決勝で優勝チームに敗れてしまい、目標としていた優勝には届かず三位に終わってしまいました。でも本番はこれから、小林さんの華麗なプレイは、いつかきつと決勝ゴールへとつながることでしょう。

私の本棚

中央図書館新着図書



『五体不満足』

乙武 洋匡 著
講談社

著者は、先天性四肢切断という障害を持ちながらも「自分にかできないこと」イコール「心のバリアフリー」に少しでも貢献するため、電動車いすに乗って全国を飛び歩いています。この本から彼の「生きる力」を感じとってください。子供にも読めるように、小学四年以上で習う漢字には、読みがなが付いています。

一般書

- ◆夜光虫(馳星周) ◆寝ずの番(中島らも) ◆王子稲荷の女(平岩 弓枝) ◆風よ、万里を翔けよ(田中芳樹) ◆おもしろくて、ありがたい(池波正太郎) ◆天の鎖平成篇(澤田ふじ子) ◆名君の碑(中村彰彦) ◆楽毅第三卷(宮城谷昌光) ◆猫の似つら絵師(出久根達郎) ◆カンパネラ(長野まゆみ) ◆本に読まれて(須賀敦子) ◆七歳のパイロット(曾野綾子) ◆紙婚式(山本文緒) ◆はずれの記(宮尾登美子) ◆泰西からの手紙(久世光彦) ◆死刑(大塚公子) ◆老いて「新しい自分」と出会う(吉沢久子) ◆みだれ髪II(俵万智) ◆妻よ!(河野 義行) ◆心の時代(さだまさし) ◆女が会社で(辛淑玉) ◆子どもへのまなざし(佐々木正美) ◆悪魔のわたしと天使の自分(金盛浦子) ◆明日なき二人(ジェイムズ・クラムリー) ◆エサウ(フィリップ・カー) ◆自分の中にいる「困った人たち」(デヴィッド・リーバマン) ◆シンブルにおもてなし(有元葉子) ほか

児童書

- ◆ばばちゃんやさいがいっぱいだ(長谷川知子) ◆ポレポレ(西村まり子) ◆ばあちゃんのえんがわ(野村たかあき) ◆りり(はらだ ゆうこ) ◆ぼくはスーパージョーカー!? (ベッツィ・ダフィー) ◆キキあずかります(田辺みゆき) ◆ドラッグ中毒日記(子どものいのちを守る会編) ほか

- 2月のテーマ関連図書コーナー・・・『映画・テレビの原作』
- 2月の親子読みかせ会・・・5日(毎月第一金曜日) 14時30分～
- 2月の中央図書館の休館日・・・11日、21日、25日